

計算
実験
実験環境
実験に用いるプログラムはC++を用いて実装し、
計算機はプロセッサ
1.4GHz
Intel
Core
i5、メモリ
16GB
2133
MHz
LPDDR3
のmacOsを搭載したものを使用した。探索における最適なサービス開

(ver
9.0.0)

を使用した。

問

題例の作成方法

DARP

では多くの既存研究があるが、本研究では時間枠及び乗車時間に対して区分線形で凸のペナルティ関数で与えている。このような問題設定の

を大きくすることで、既存研究との計算結果を比較することができる。 $??$ で挿入近傍のほうが良い解を得られることが確認できたため、挿入近傍を用いて出力した解とCordeauらによつ